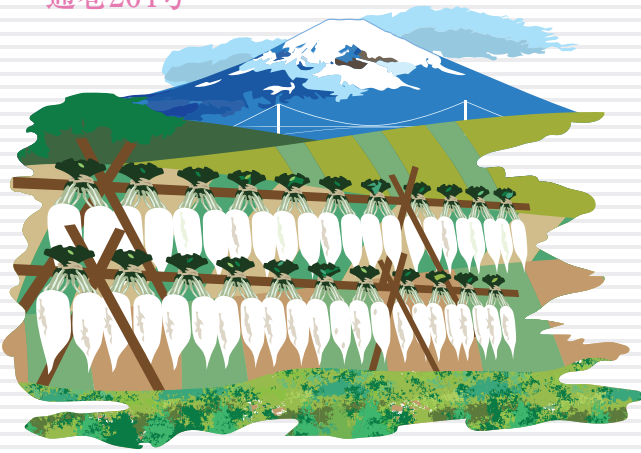


新春号

通巻264号

SANSHIN
NEWS

- 新年のご挨拶
- 「付加価値向上」による販路開拓支援強化
- 「働き方改革」の土壌づくり「健康経営」
- 「人手不足」環境に対応する側面支援
- 観光資源の掘り起こしと磨き上げ
- 新たな観光活性（伊豆88遍路）
- 在職者訓練で「生産性革命」



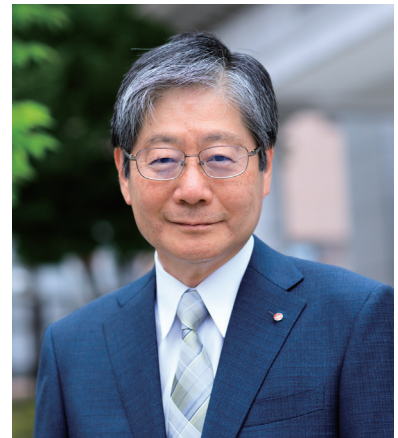
平成30年 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

平成30年の新春を迎え謹んでお喜び申し上げます。

また、平素の三島信用金庫へのご支援に厚く御礼申し上げます。

昨年の日本経済は、「いざなぎ景気越え」「日経平均株価の16営業日連騰」など景気拡大を表す言葉が数多く伝えられました。国内における根強い節約志向や天候不順を要因とする個人消費の停滞を、世界経済の拡大を追い風とする「輸出」と企業の「省力化にむけた投資」が上回ったことが成長率を押し上げた結果、11月に内閣府が発表した国内総生産（GDP速報値）では年率1.4%の成長を記録し、約16年ぶりとなる「長期プラス成長を実現した1年」となりました。一方で「世界経済変調への対応（競争力の強化）」「少子化に伴う人手不足（採用環境激化）への対応」は業種を問わず喫緊の課題となっており「生産性革命」「人づくり革命」といわれる企業内構造改革が急務となっています。



【理事長 平井 敏雄】

地域経済に目を向けますと、29年9月に地域の中小企業170社の皆様のご協力により実施した「第44回県内信金合同景況調査」によれば、当金庫エリアの全業種業況DIは28.3ポイント改善しました。景気拡大が地域経済へも波及した効果とも思われますが、安定推移した製造業・建設業、天候不順を営業活動でカバーした宿泊業、逆にその影響を大きく受けた卸小売業と業種によるバラつきがみられました。

「合同景況調査」に寄せられた事業者の皆様からは「IT化や設備導入による生産性向上」「異業種交流や産学連携を活用した研究開発で差別化」を目指すといった「攻めの経営」方針の一方で、「販路開拓への支援依頼」「事業承継に関する悩み」「人手不足に対する先行き不安」等を懸念する声もいただいています。



当金庫は急速に変化する諸環境をふまえ、地域金融機関としての仲介機能を発揮すべく、昨年も様々な取り組みを行いました。まず、隣県連携による新たな機会・価値創造を目的に、平成29年1月にさがみ信用金庫との業務連携、7月には箱根八里街道推進協議会とさがみ信用金庫との3者連携を締結しました。両信用金庫が持つネットワークを融合することで生まれる「新たなビジネスチャンス」「情報」を地域の事業者の皆様へ還元してまいります。



【第7回 夢企業大賞表彰式】

11月に開催した「静岡県東部4信金ビジネスマッチング商談会」は、「食&農こだわりの逸品展示会」と「富士山麓ビジネス商談会」を初めて同日開催しました。県内外、東北海道などから180団体が出展し、来場者7,000人、事前予約型の個別商談会では発注130社、受注187社により500以上の商談が活発に行われました。また「食&農こだわりの逸品展示会」では初となるグルメコンテストを開催し出展者の皆様の発信機会を創出しました。



【当金庫・さがみ信用金庫・箱根八里推進協議会】
【パートナーシップ協定 締結式】

皆様の事業の本業をサポートする為、従来からの取り組みを更に強化いたしました。

第7回を迎えた「夢企業大賞」は新たに優秀賞を創設し、受賞対象幅の拡大を図ることで、より多くの事業者の皆様へビジネスモデル発信の機会を創出させていただいた結果、今回、過去最多となる99件のご応募をいただきました。ご応募いただいた皆様の「新たな取り組み」が、必ずや地域競争力の強化、活性化につながるものと確信しております。



【東部4信金 ビジネスマッチング商談会】

2020年の東京五輪、DCキャンペーン等に向けて急速な動き、需要拡大も本格化が予想される「観光業」に対しましては、経済産業省が関連する「海外メディアツアー」「ホテルコンシェルジュ事業」といった基盤構築事業へ積極的に関与し、皆様へ向けては「おもてなし企画認証」取得促進、「インバウンドビジネスセミナー」開催による環境整備の促進を図りました。

「生産性革命」「人づくり革命」がまさに本年はキーワードとなります。当金庫では女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を顕彰する制度「えるぼし」を取得、従業員の観点から生産性向上に資する「健康経営宣言」を行うなど率先垂範して取り組みました。

平成30年は、更に加速する状況の変化に対応し「地域活性化の起点と信頼の拠点」を目指して、三島信用金庫だからこそできる事業者の皆様へのご支援に取り組んでまいります。

結びに、本年の皆様のご活躍をお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

～「付加価値向上」による販路開拓支援の強化～

平成29年11月15日、沼津市のプラサヴェルデを会場に「静岡県東部4信金ビジネスマッチング商談会」を開催しました。

当金庫が事務局を務めた「富士山・東北北海道広域ビジネスマッチング『食&農』こだわりの逸品展示会」では、今回新たな挑戦として、『第1回こだわりの逸品グルメコンテスト』を開催しました。

「販路開拓」と併せて「発信力の強化」を目指す出展事業者様を力強く後押しするための新たな企画として今回初めて実施しました。

コンテストの間には地元ミュージシャン（HARUさん・Faithさん）によるミニコンサートも開催し、これまでにない演出を加えて展示会場を華やかに彩ることが出来ました。

コンテストは前菜・メインディッシュ・ドリンク・デザートで実施、56社の出展者様にエントリーいただき、一般ご来場者の審査によって各部門の最優秀賞が決定しました。



【熱心に審査する一般来場者】



【グルメコンテスト表彰式】

富士山・東北北海道 広域ビジネスマッチング「食&農」こだわりの逸品展示会 第1回 こだわりの逸品グルメコンテスト

最優秀賞 受賞商品



前菜部門

羅臼海産 株式会社

スモークサーモン（秋鮭）



メインディッシュ部門

よしのダイニング 株式会社 フィットコーポレーション

黒毛和牛 すきやき重



デザート部門

Anniversary Sweets Happiness 株式会社 ケルン

紅ほっぺのショコラ



ドリンク部門

富士錦酒造 株式会社

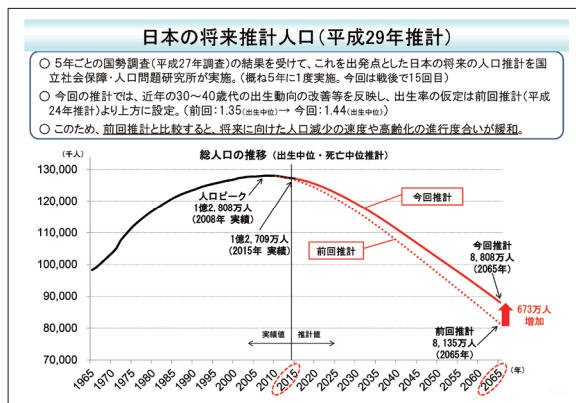
富士山甘酒



当金庫は、今後も様々な機会を活用し、事業者の皆様の付加価値向上をお手伝いすることで『販路開拓・発信力強化』をサポートしてまいります。

急速に進む「生産年齢人口」の減少を背景に、「人手不足への対応」は喫緊の経営課題となっています。同課題に対しては政府でも税制・規制改革といった施策も視野に議論が活発化しています。

平成29年11月に開催された「中小企業・小規模事業者の働き方改革・人手不足対応に関する検討会（第3回）」では、厚生労働省・中小企業庁より下記の事項が喫緊に取り組むべき課題として抽出されました。



中小企業・小規模事業者が「働き方改革」を実現するための課題（検討会資料抜粋）

- 「働き方改革」の理解促進
- 「生産性の向上」
（小さな工夫・業務見直し・IT化・設備投資）
- 人材確保等
（求人像の明確化・働き手目線での人材募集）
（定着率向上に向けた多様な雇用形態の提供）
（職場環境の整備）
- 事業承継（M&A）
- 行政手続きの簡素化

「働き方改革」の根底にあるのは、女性・若者高齢者等、誰もが生きがいを感ぜられる「一億総活躍社会の実現」です。

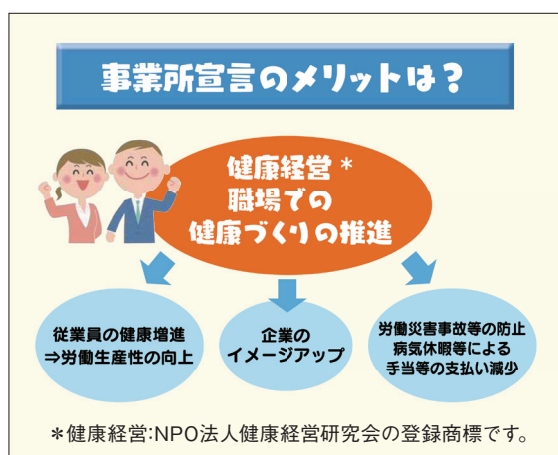
欧米諸国に比較して長時間傾向の労働環境を是正するため「生産性の向上」に取り組むことと平行して『魅力ある職場づくり』（環境整備・人材育成、活用力の強化）は、人材確保の観点からも必要不可欠な事項となっています。

～「働き方改革」に向けた職場環境の整備～ 当金庫の取り組み

平成29年11月、当金庫は女性活躍推進顕彰「えるぼし」を取得したことに加え、「ふじのくに健康づくり推進事業所宣言」と「ふじ33プログラム」への取り組みを開始しました。

「働き方改革」を進めるには「職員の健康に対する配慮」は欠かせません。健康な職員がいて初めて働き方改革がすすめられるものと考え、同取り組みを開始することとしました。

良好な職場環境の確立に向けて、経営的な視点から職員の健康管理を戦略的に実践することで、職員の健康維持・増進を『生産性の向上』につなげてまいります。



【ふじのくに健康づくり推進事業所宣言のメリット】

【「ふじのくに健康づくり推進事業所宣言」に関するお問い合わせ】

静岡県健康福祉部健康増進課 ☎ 054-221-2433

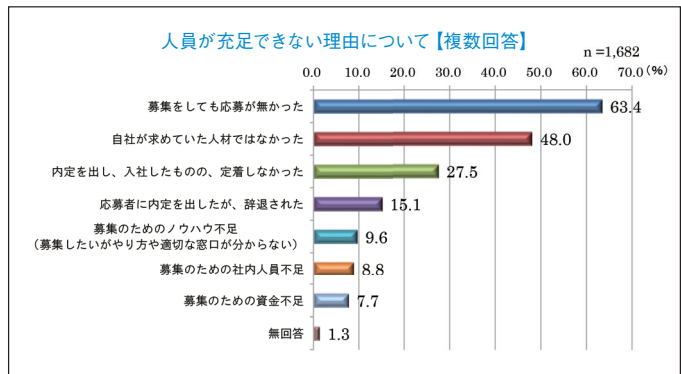
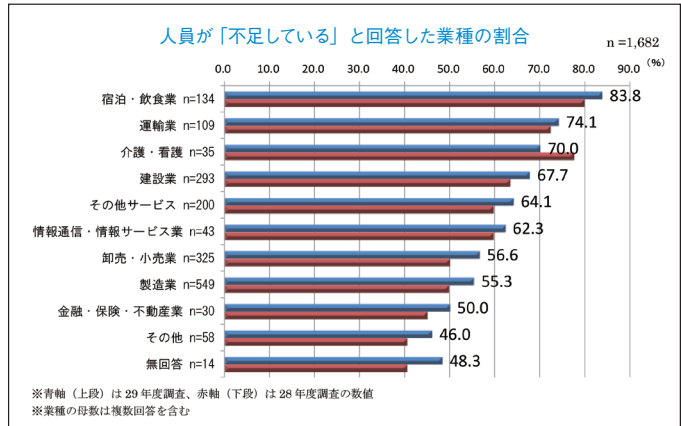
「人手不足」環境に対応する側面支援

企業現場における「人手不足」の状況について、日本商工会議所が平成29年7月に全国の中小企業4072社を対象としたアンケート調査結果によると、全体の60.6%の企業が「人手が不足している」と回答しています。

業種別集計では「宿泊・飲食」「運輸」「介護」「建設」が高い結果となりました。

人手が不足していると回答した企業のみを対象に実施した「人員を充足できない理由について」の回答は「募集をしても応募がなかった」が最も多く、求人環境の厳しさが顕著となっています。

回答企業からは「仕事に慣れたころ辞めてしまう社員が多い」「募集しても全然応募がなく費用のみが高んでいる」「若者が地方で就職したくなるような環境整備が必要」との声が寄せられており、支援環境が必要な課題であることが浮き彫りとなっています。



【出展：日本商工会議所「人手不足への対応に関する調査」】

～地元企業の魅力を発信する独自の取り組み～

日本商工会議所実施のアンケートに寄せられた「若者が地方で就職したくなるような環境整備が必要」とのニーズに、当金庫では独自の取り組みを実施しています。「伊豆総合高校による企業研究」では、地元工業系の高校が授業の一環として企業現場を見学する機会と、地元企業の発信機会を創出しています。平成20年より開始した同取り組みは、成29年度で10回目を迎えました。

より幅広く、高校生世代に向けて発信する取り組みとしては、平成29年度より「まち・ひと・しごと新聞」を開始しました。



【伊豆総合企業研究】



【まち・ひと・しごと新聞第2号 キックオフミーティング】

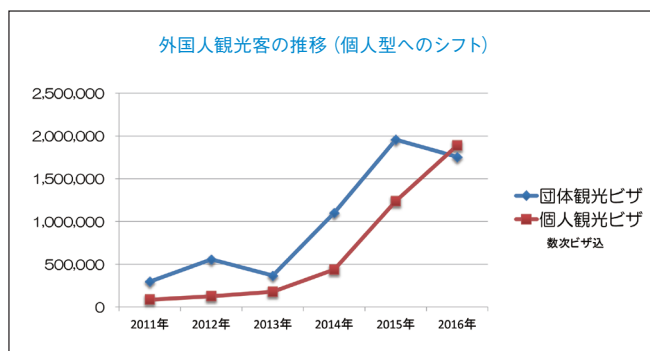
「地元企業を知ってもらうこと」「将来的に地元で働きたい暮らしたいという動機につながることを目的に、当金庫が高校新聞部に取材・記事化・新聞制作を委託する同事業は現在、第2号の発行に向けて活動中です。韮山高校を幹事校として・日大三島高校・熱海高校の3校連携という新しいステップへ裾野を拡大して取り組んでいます。

当金庫は、信用金庫ならではの手法で、様々なチャネルを活用し、若年層に向けたお取引先の魅力発信を側面からお手伝いしてまいります。

「観光資源の掘り起こしと磨き上げ」

2020年五輪やDCキャンペーンなどを控え、静岡県（東部・伊豆地域）にとって、平成30年は将来の観光産業の方向性を定める上で、非常に重要な1年となるのではないのでしょうか。

観光活性を考える上で、外国人観光客の誘客は大きなファクターの1つです。近年の動向として『団体から個人型へのシフト』『体験』がキーワードとされています。



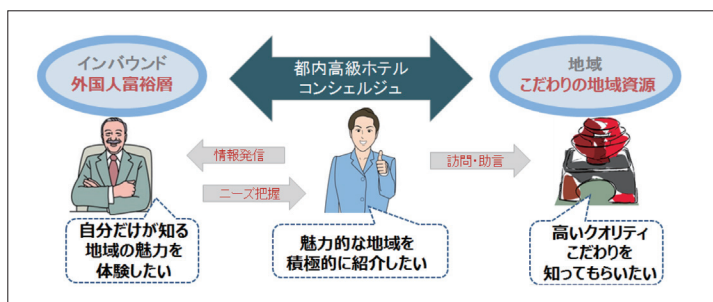
【出展：外務省 訪日中国人観光客動向に関する資料】

当金庫は平成29年2月に、海外メディア（テレビ局・YouTuber等）を対象に伊豆地域の多彩な魅力を発信するため、関東経済産業局が実施した「海外メディアツアー」に共同参画しました。

伊豆地域は、まだまだ魅力的な観光資源が多数あり、更なる「観光資源の掘り起こしとルートづくり」による観光基盤づくりは、今後ますます重要性を増すと考えられます。

『観光資源を掘り起こす』～ホテルコンシェルジュ事業～

同事業は関東経済産業局がホテル・コンシェルジュと連携し、2020年に向けて外国人観光客（主に富裕層）を対象として誘客する仕組みの構築を目指す事業です。外国人観光客のニーズを把握するコンシェルジュが、隠れたこだわりの地域資源を有する地域に訪問し、その目利き力を活かして磨き上げのアドバイスをを行います。また、ターゲットに対して魅力発信も行うことで、インバウンド拡大を支援する取り組みです。



当金庫は、(一社)美しい伊豆創造センターと連携し、平成29年12月11日より1泊2日の行程で、同事業を実施しました。当日は、グランドハイアット東京の阿部氏、パレスホテル東京の川村氏と、料理通信社プロデューサー・カメラマン、TeamMercuriusプロデューサーが参加し、『伊豆地域の魅力掘り起こし』の支援を実施しました。



訪問先としてご対応いただいた当金庫お取引先様からは、「インバウンドの趣向を熟知する外部実務担当者へ直接視察、アドバイスをいただく機会はとて貴重な取組み。今後の事業に内容を盛り込み、魅力発信を強化したい」との感想と今後に向けた声が寄せられました。



当金庫は（官民交流制度等）独自のネットワークも活用し、観光活性に向けた基盤づくりに取り組んでまいります。

【ホテルコンシェルジュ事業実施の様子】

新たな観光活性 ～伊豆88遍路～

観光資源の掘り起こしの際に、重要な要素の1つが「歴史」ではないでしょうか。その歴史に新たな要素を取り入れて地域観光の活性化を目指す『伊豆88遍路』をご紹介します。

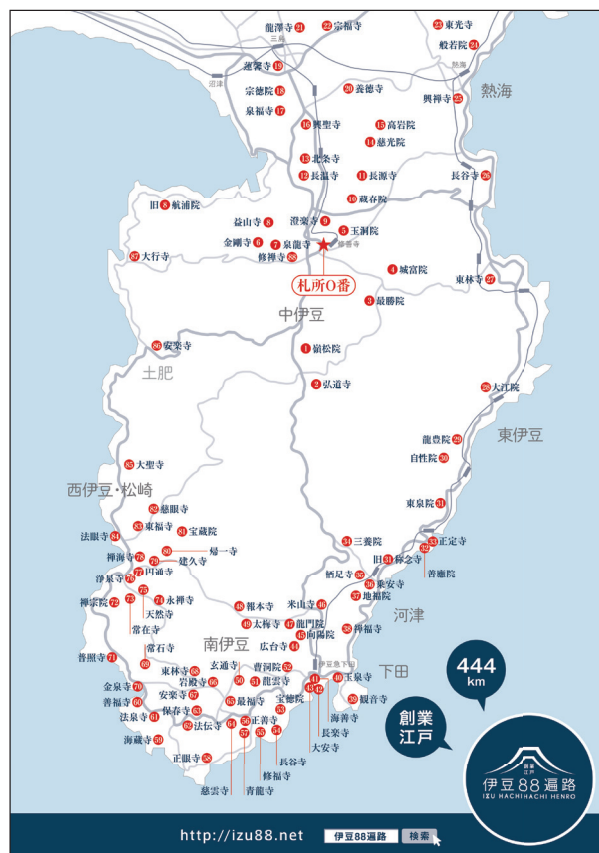
ご存知ですか？伊豆にも
お遍路があるんです！

この伊豆の地に「江戸時代」から残っている由緒正しい、伊豆八十八ヶ所霊場があるのはご存知でしょうか。実は江戸時代には四国同様に、伊豆でも盛んにお遍路が親しまれていました。昭和初期に一度衰退してしまい「風前の灯火」となりましたが、寺院や地域、公共団体、伊豆の公共交通機関などの協力のもと、復活プロジェクトが始まりました！

【歴史】伊豆八十八ヶ所霊場の起源は、定かではありません。古事記等を焼失した寺院も多くあり、確かな事は不明ですが、49番札所から50番札所に行く道中の山頂付近にある石碑で、江戸時代の「天保六年(1835)四国遍路祈願」と刻まれた石碑を確認しており、その山道が遍路道だった事を伺わせます。弘法大師自らから開創・開山されたという伝説の残る寺院とされる8番札所（益山寺）9番札所（澄楽寺）81番札所（宝蔵院）88番札所（修禪寺）や、13番札所の北條寺の遍路絵馬額、明治時代の納経帳や木版など、各寺院にはそれぞれの由来や伝説があり、境内に一步入ると千年近い樹齢の古木や苔むした石仏像が確かな歴史を物語っています。

【楽しみ方】本場、四国では年間約15万人が訪れていますが、実際に歩いている方は1,000人に満たないと言われています。多くはバスツアー、タクシー、自家用車で参拝しています。歴史に親しむだけでなく、サイクリングやツーリングなどで巡るなどお遍路の楽しみ方は様々です。

【初めてお遍路をされる方へ】誰でも最初は初心者です。作法などもありますが、初心者の方はお気になさらず、楽しみながら徐々にお作法を学んで頂ければと思います。参拝していると、ご住職様が導いてくれるかもしれません。もちろん、熱心に信仰したいという方や、ちょっと不安だという方は、是非、札所0番にお立ち寄りください。全面的に応援させていただきます。詳細はHPをご覧ください。より多くの方に伊豆半島を楽しんで頂く事が、「地域活性の第一歩」と考えています。



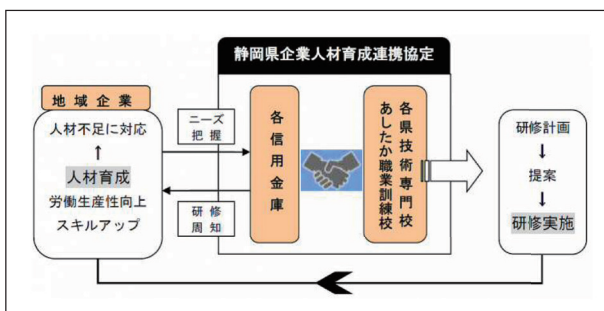
【『伊豆88遍路』に関する詳細お問い合わせ先】
伊豆霊場振興会 〒410-2416 伊豆市修善寺75 03棟
☎0558-99-9882（月曜休9:00～16:00）
Email:info@izu88.net



詳細情報 ▶ <http://izu88.net>

「生産性革命」の方向性（生産性向上に向けた在職者訓練）

中小企業・小規模事業者の皆様の「働き方改革」実現に向けた対策として、重要とされる課題の一つに「人材の育成・活用力の強化」が挙げられています。平成29年9月21日、県内信用金庫と静岡県は「静岡県企業人材育成連携協定」を締結しました。職業訓練学校・県技術専門校が連携し、地域企業の人材育成に取り組む同協定は人手不足に対応する為の有効な支援ツールではないでしょうか。



在職者訓練制度の実例【レディーメイド型研修のご案内】～沼津技術専門校～

沼津技術専門校の「在職者訓練制度」に関しては、さんしんNEWS第262号（平成29年5月発行P7）で、特集としてご紹介させていただきました。



【レディーメイド型研修実施風景】

新年を迎え、平成30年は「生産性向上」が更に重要度を増す状況をふまえて、今号では「レディーメイド型研修」をご案内します。事業者の皆様が目指す「生産性向上」の第一歩として是非ご活用ください。

【レディーメイド型研修の事例】

月	コース名	訓練内容	定員	時間数	昼夜	募集期間	訓練期間	受講料金
2	機械CAD基本	AutoCADによる作図および簡単な機械図面の作成方法の習得	10	4日 24時間	昼	12/25～1/24	2/14・15・21・22	2,160円
	エクセル応用	Excel使用経験者を対象：応用的な機能・操作の習得	15	5日 15時間	夜	1/22～2/2	2/19・22・26・3/1・5	1,620円
	機械CAD応用	AutoCADによる機械図面作成と三次元モデリング操作方法の習得	10	4日 21時間	昼	1/8～2/7	2/28・3/1・7・8	1,620円
	シーケンス制御の基礎（有接点）	リレーシーケンス制御の基本的な回路図や配線方法を通し、シーケンス制御を行う上で必要な知識を習得します。基礎から実施しますので、シーケンス制御を学んだ事がない方も受講していただけます。	5	4日 12時間	夜	12/1～1/24	2/5・8・15・19	2,160円
3	ガス溶接技能講習	労働安全衛生法に基づく取扱い資格取得講習 『静岡労働局 登録番号15号』	20	2日 14時間	昼	2/5～3/2	3/14・15	2,160円

【在職者訓練制度に関するお申込み・お問い合わせ】

静岡県立沼津技術専門校（HP）<http://www.numazu-vc.ac.jp>

〒410-0022 静岡県沼津市大岡 4044-24 ☎ 055-925-1071